

未来へつなごう

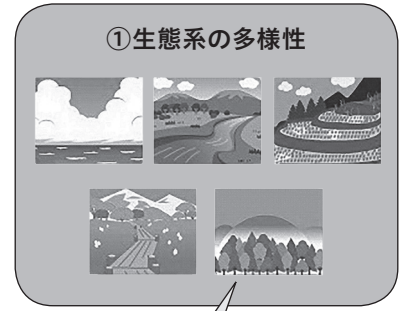
# 京都の自然

みんなであつた  
大切な自然



# せいぶつたようせい 生物多様性とは

地球上にはたくさんの種類の生きものがいて、お互いがつながりあって生きているということです。地球上にいる生きものの種類は数千万種と言われており、京都府内でも約1万3000種もの生きものがいます。これらの生きもののひとつひとつに個性があり、それぞれが異なる役割（ニッチ）を持っていて、お互いに様々な形で助け合い、支え合いながら生きているのです。生物多様性には3つの種類があります。



出典：京都府生物多様性地域戦略

## ①生態系の多様性

森、草原、湿原、川、海などさまざまな環境があること。

## ②種の多様性

さまざまな種類の動植物が生きていること。

## ③遺伝子の多様性

同じ種の生きものの中でも、形や大きさなどにさまざまな違いがあること。



## ミナミメダカ



日本のメダカの代表種。日本のメダカには「キタノメダカ」と「ミナミメダカ」の2種類があり、京都府内には主にミナミメダカです。「メダカの学校」でも歌われたように、昔は日本全国どこにでも普通にいた魚でしたが、1980年頃から数が減り始め、現在では環境省や京都府のレッドデータブックで「絶滅危惧種」に指定されています。数が減った原因は、開発や農薬の使用、外来魚の影響などと言われています。

※レッドデータブック：絶滅の危険がある生きものたちを載せた本

2×××年…  
ここは未来の  
京都…

今日も学校が終わったね！  
さあ帰ろう  
シゼンちゃん

そうね  
ユタカくん！  
今日学校で習った  
ことを  
思い出しながら  
帰りましょう！

今日習ったのは  
「メダカのおうち」  
っていう古い時代の  
歌だったね！

メダカのおうち  
は、  
キレイな  
おがわのなか  
…ん？

同じく  
ミライ学校1年生  
シゼンちゃん

ミライ学校1年生  
ユタカくん

そういえば  
メダカ…って  
どういう生き物  
なんだろう？

小川の中にいるから  
きつとお魚ね！

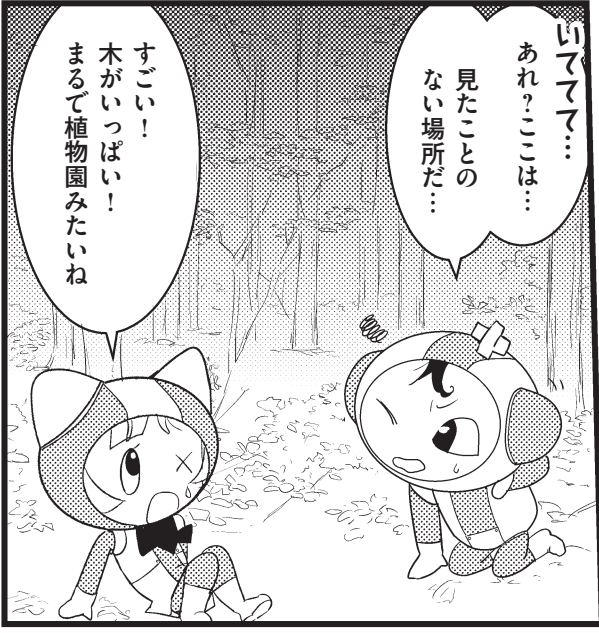
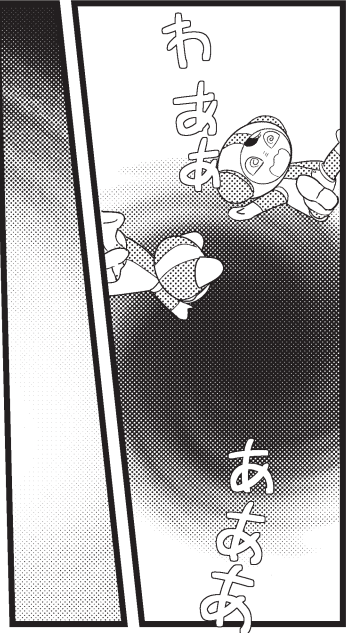
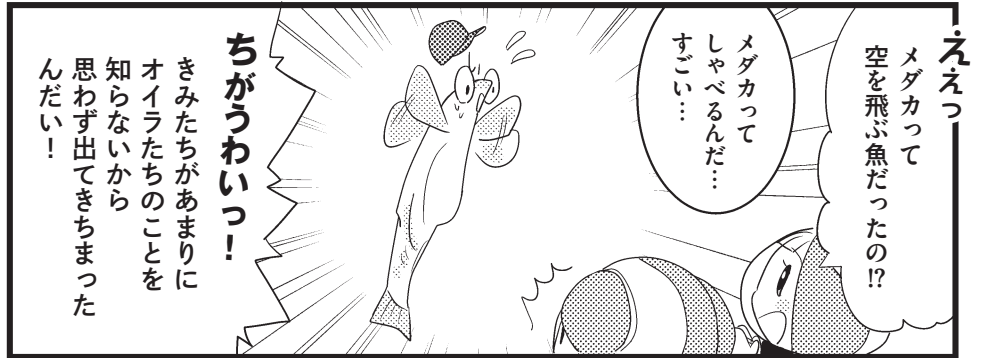
このうのかし？

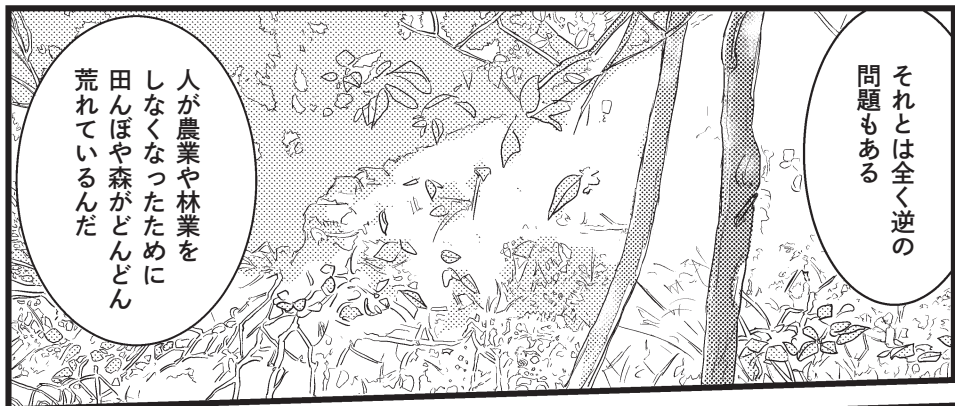
昔の歌やお話には  
よくわからない  
動物の名前がいっぱい  
出てくるよね

本当に  
いたのかな？

ちょっと  
待ったあーっ!!

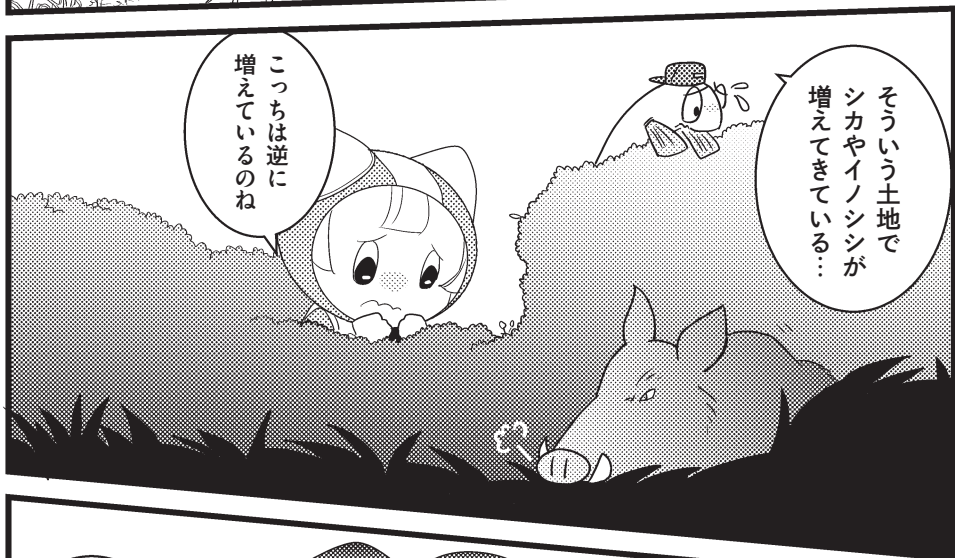






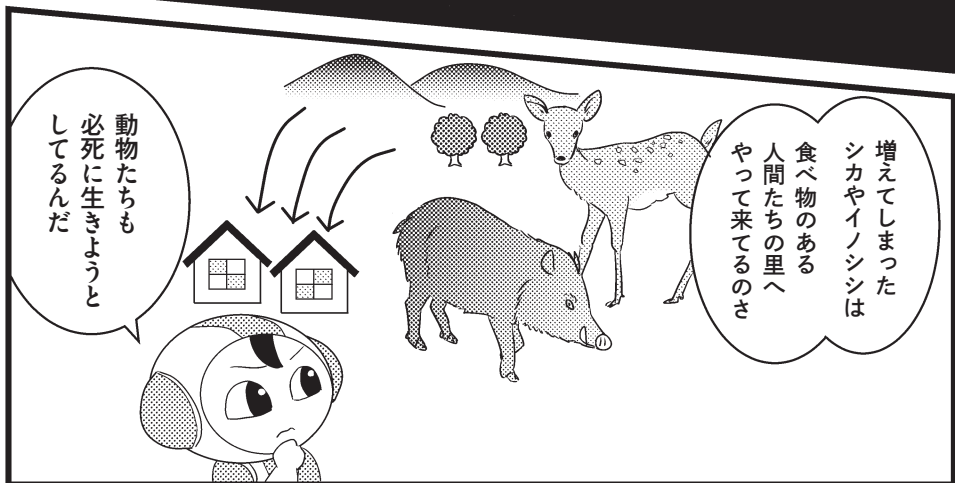
それとは全く逆の問題もある

人が農業や林業をしなくなったために田んぼや森がどんどん荒れているんだ



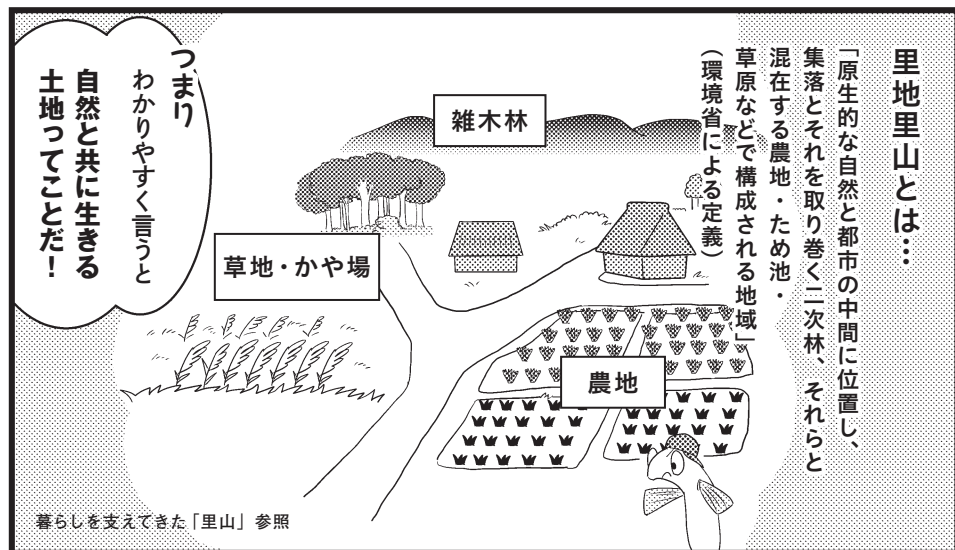
そういう土地でシカやイノシシが増えている...

こっちは逆に増えているのね



増えてしまったシカやイノシシは食べ物のある人間たちの里へやって来るのさ

動物たちも必死に生きようとしてるんだ

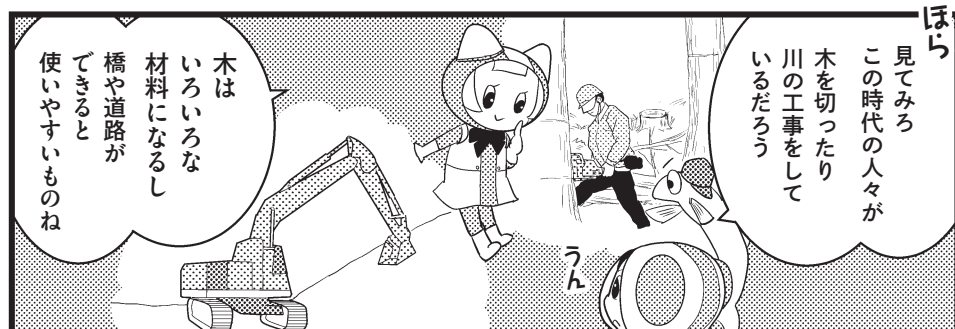


里地里山とは...

「原生的な自然と都市の中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地・ため池・草原などで構成される地域（環境省による定義）」

つまりわかりやすく言うと自然と共に生きる土地ってことだ！

暮らしを支えてきた「里山」参照



木はいろいろな材料になるし橋や道路がでけると使いやすいのね

ほら 見てみる この時代の人々が木を切ったり川の工事をしてるだろう



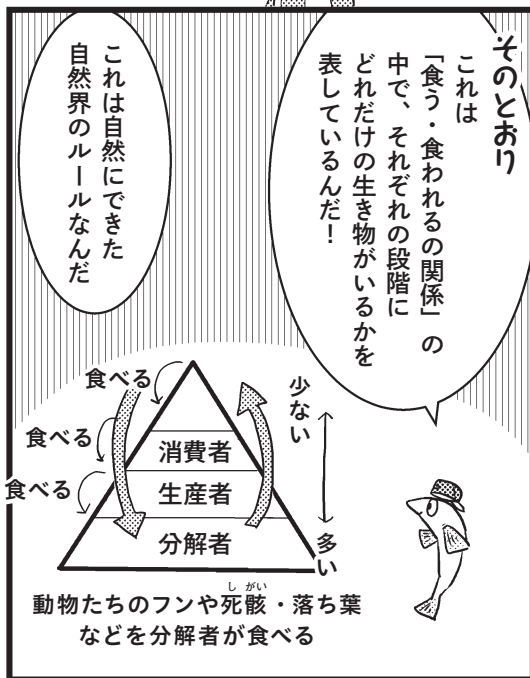
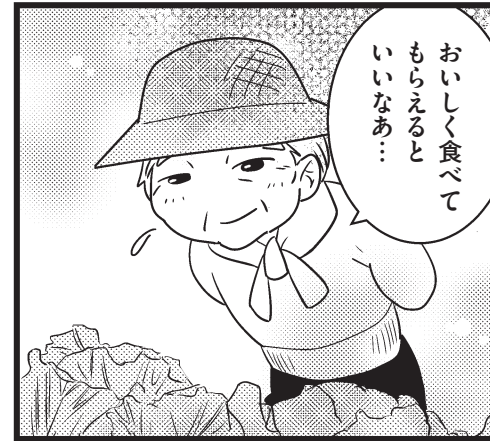
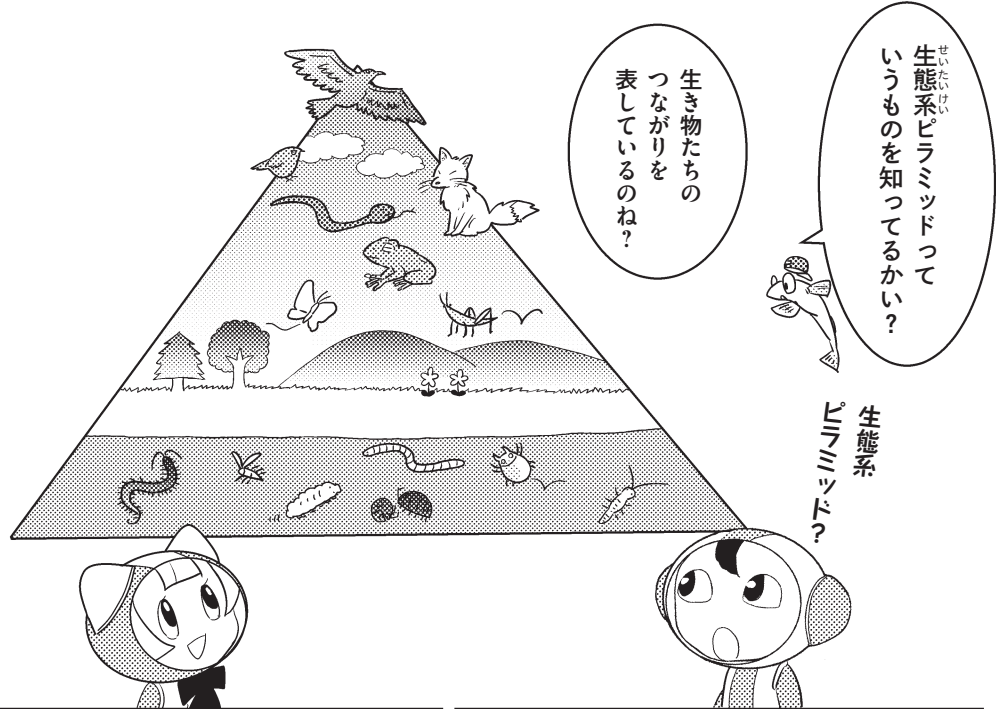
まっさら... ほくたちの食べ物をとらないで！

たしかに人間たちには便利になるかも しいれない...けどな 今まさにオイラたちが生きられなくなっているんだ

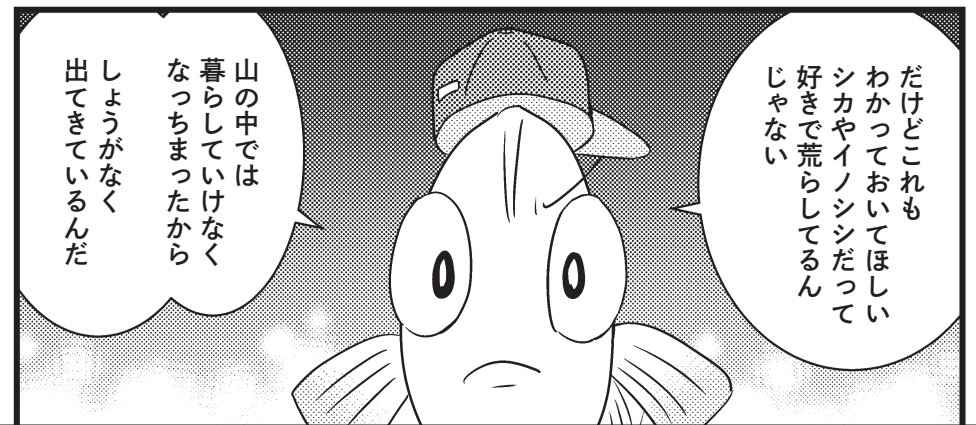
ひどい... かわいそう

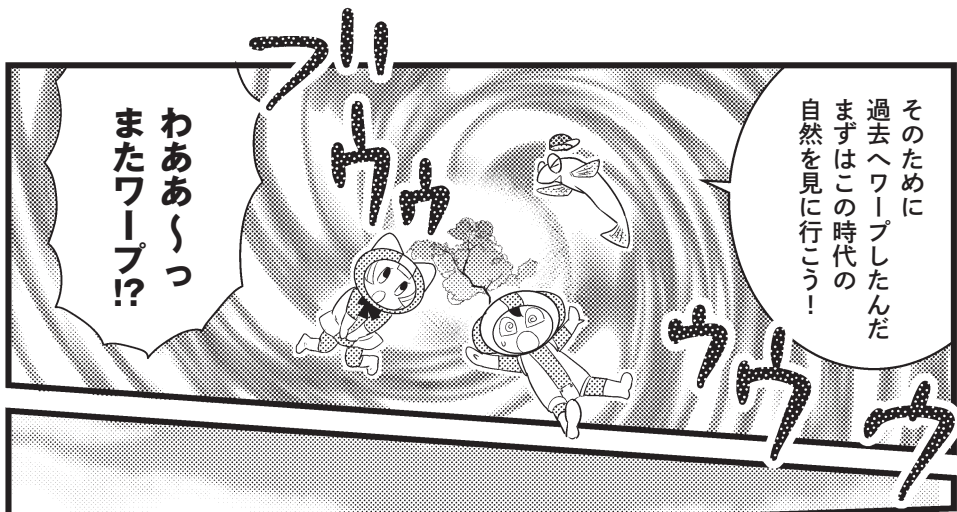
工事で水が汚れて臭がでない... 苦しい...





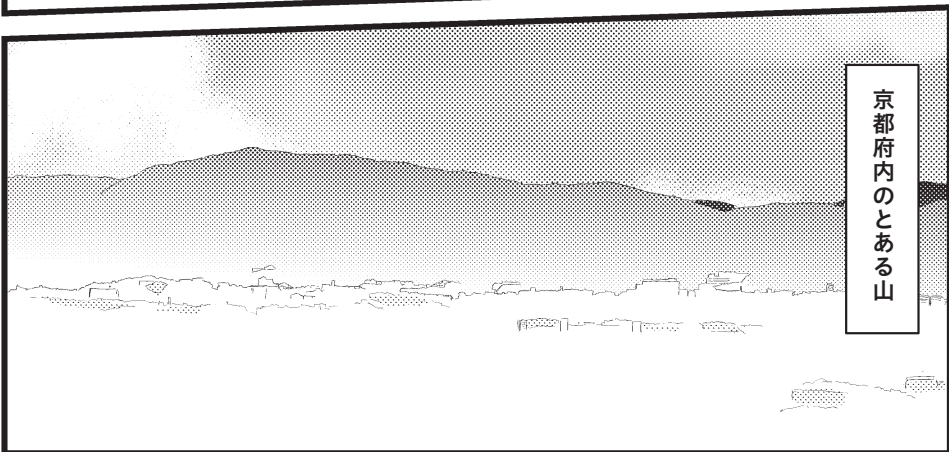
※もともと日本にいなかったのに、人間の活動によって連れて来られた生きもの。昔からの日本の生態系を崩してしまうことがあり、大きな問題になっている。



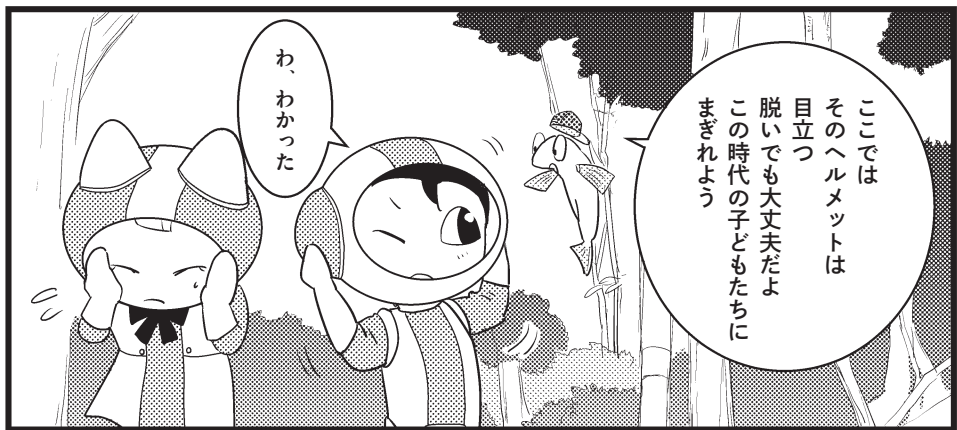


わああ〜っ  
またワープ!?

そのために  
過去へワープしたんだ  
まずはこの時代の  
自然を見に行こう!

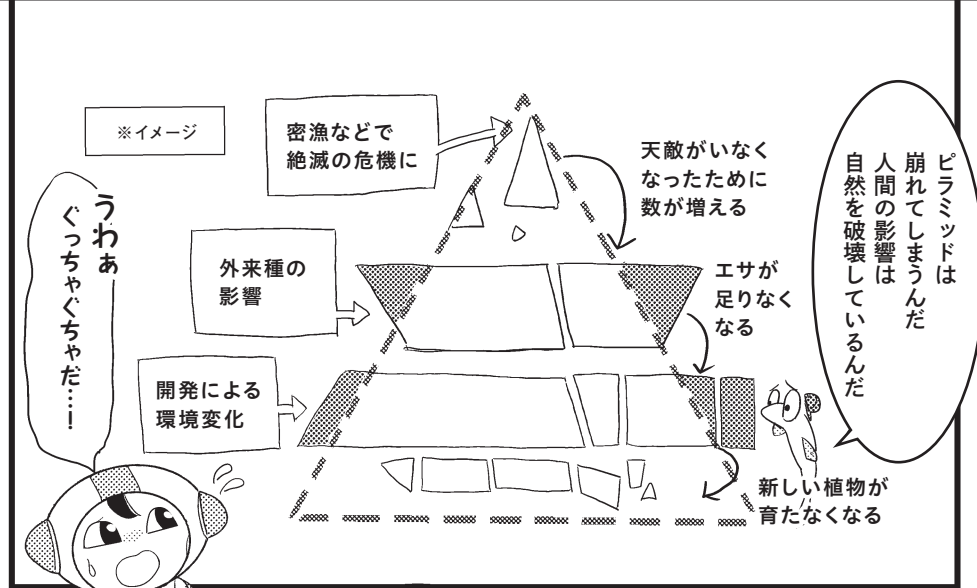


京都府内のある山



わ、わかった

ここでは  
そのヘルメットは  
目立つ  
脱いでも大丈夫だよ  
この時代の子どもたちに  
まぎれよう



うわあ  
ぐっちゃぐちゃだ…!

※イメージ

密漁などで  
絶滅の危機に

天敵がいなく  
なったために  
数が増える

外来種  
の影響

エサが  
足りなく  
なる

開発による  
環境変化

新しい植物が  
育たなくなる

ピラミッドは  
崩れてしまうんだ  
人間の影響は  
自然を破壊しているんだ



正しいピラミッドの形を  
守ることこそが  
自然を守ることになる…

オイラたちの  
ように  
絶滅していく  
生き物も少なく  
なるんだ

それぞれが  
食べる・食べられること  
数を増やすこと・減らすこと  
すべてに役割があるんだ  
これが生物多様性  
ということだよ



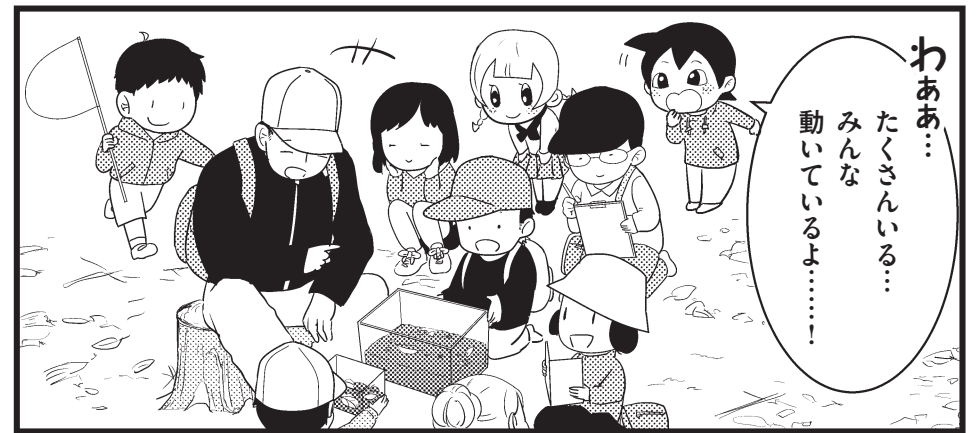
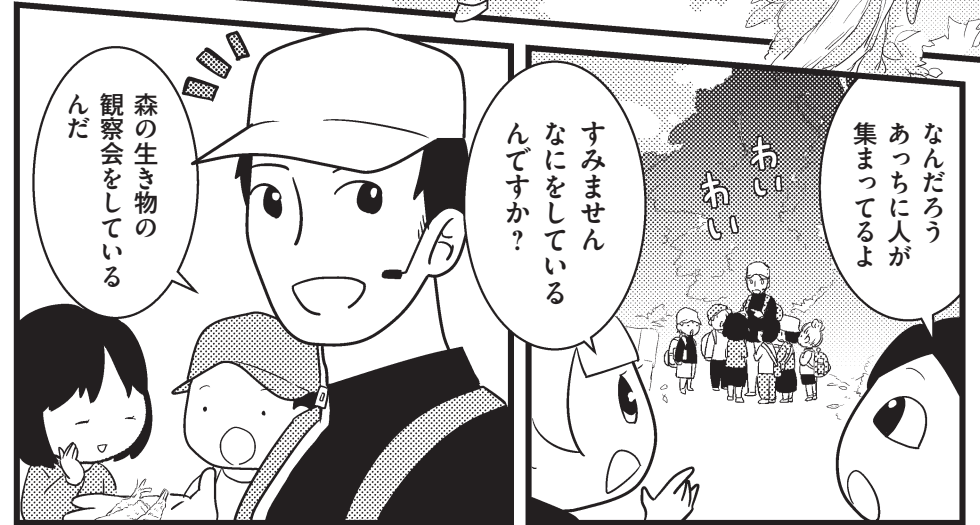
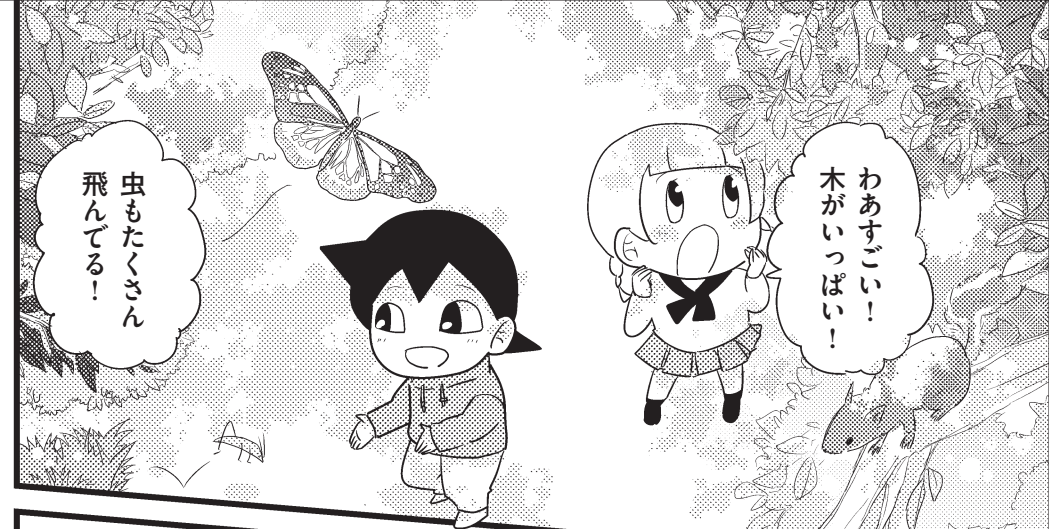
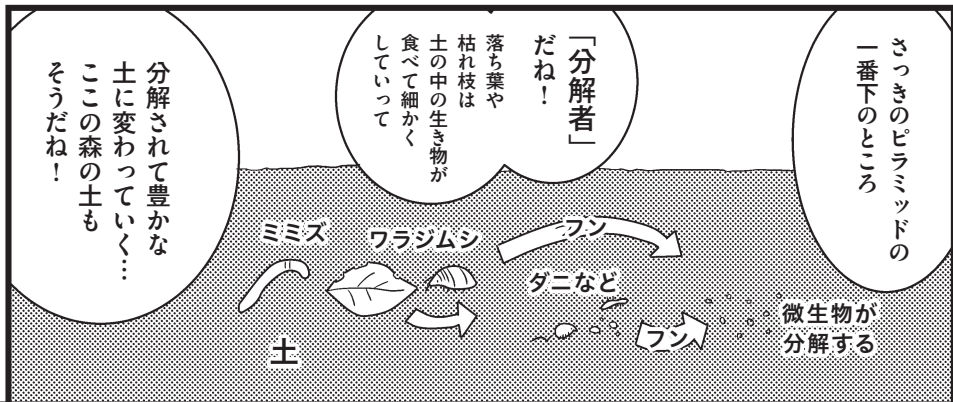
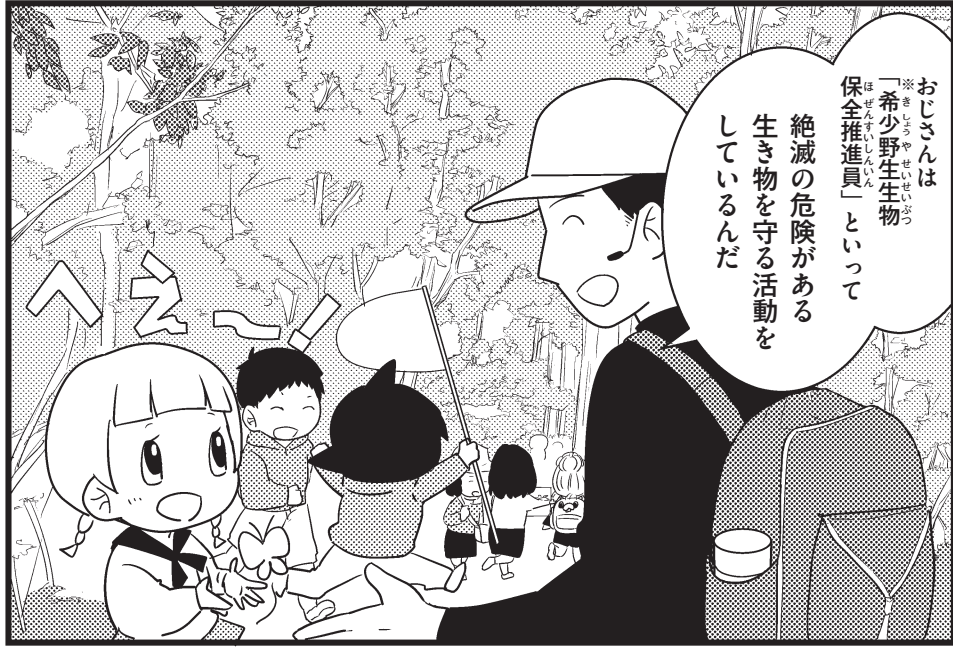
できる  
とも!

もう私たちの  
時代には  
ミナミさんたちを  
残すことは  
できないの  
かしら

このピラミッドが  
崩れてしまった  
から  
ぼくたちの時代には  
いなくなっちゃった  
生き物がたくさん  
いるんだね

そっか







ふふふ  
ぼくたち  
森と生き物に前より  
詳しくなってるね!

今まで知らなかった  
生き物がたくさんいて  
その働きで  
成り立っているのよね  
自然って楽しいね!

そういえば  
たくさん網があるけど  
これってなんだろう

ああ、それかい?  
防鹿柵ぼうろくさくだよ

シカたちが  
人里へ下りて  
畑に入ってくるのを  
防ぐために  
網や柵を張ってるんだ

他にも植えたばかりの  
小さな木が食べられて  
しまわないように  
張ったりするんだよ

なんでシカは  
そんなに  
増えちゃったの?

いろんな原因が  
あると言われて  
いるよ

天敵だった  
オオカミが  
いなくなった  
とか:  
温暖化とか:

狩りをする人が  
減ってしまった  
こともある……

そのせいで  
シカや  
イノシシの肉は  
あまり食べなくな  
ってしまっ  
たんだよね

もつ\*ジビエ料理が  
普及すれば  
狩りをする人も  
増えるだろうけどな

えっ!?

シカたちを  
食べちゃうの!?

それって  
いいの?

もちろん  
限度はあるけれど  
狩ったなら  
食べてもらわないと  
もったいないし……  
シカたちも増えすぎて  
住むところが  
なくなってる  
くらいだからね

食べることで  
数を減らす……  
それが環境を  
守ることになる  
こともある

これも  
生物多様性の  
ひとつなのかも

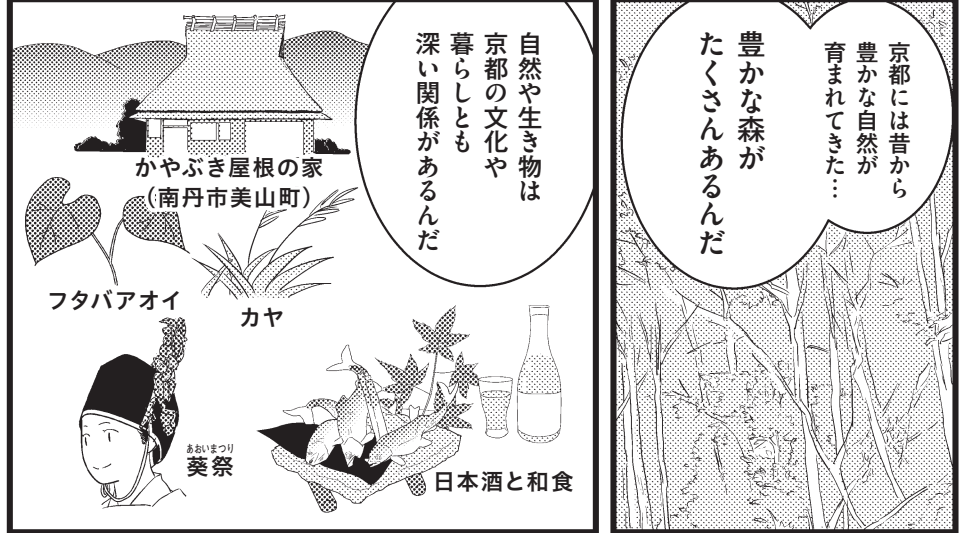
\*野生の動物の肉。シカ、イノシシ、ウサギ、キジなどがよく食べられる。



京都には昔から豊かな自然が育まれてきた…

豊かな森がたくさんあるんだ

自然や生き物は京都の文化や暮らしとも深い関係があるんだ



かやぶき屋根の家 (南丹市美山町)

フタバアオイ

カヤ

あまいづり 葵 祭

日本酒と和食

この豊かな森を守っていくために私たちは活動を続けているんだ

もっと多くの人に森を山を見て感じてほしいと思っている

まずは近くの山に入ってみたりとか少しでも機会があれば活動してみてほしい

森を守るといことは一人の力じゃとてもできない

たくさんの人に森は自分たちのものであると感じてほしい

大切にしようという気持ちを 持ってもらいたい

またいつでもここにおいて一緒に私たちで自然を守っていこう!

そうか

環境を守っていくのは専門の人じゃなくてぼくたち自身なんだね

きっとまだまだ森を守る活動はたくさんあるよね それをこの時代の人たちに知ってもらわなきゃ!

守るっ!

そしてユタカとシゼンはこの時代の人たちに環境を守る活動を伝えた

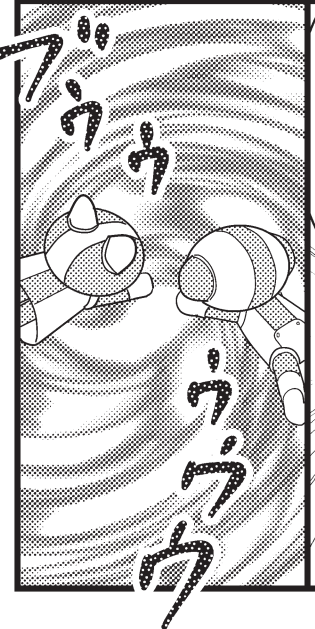
たくさんの人に自然のことを知ってもらって活動できたね

人に伝えるだけでも力になれるんだわ

これできっとぼくたちの時代に戻ったら生き物もたくさん残っているはずだ!

ふたりともありがとう! きみたちに来てよかったよ!

それじゃあ元の時代に戻ろう! ワープだ!





# 未来へつなごう 京都の自然

みんなで守る 大切ないのち



2019年3月 発行

京都府 環境部 自然環境保全課

〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL 075-414-4706 FAX 075-414-4705

ネーム 西田真澄 (京都精華大学マンガ学部)

作画 曾山舞

監修 三河かおり / コー・スギヨ (京都精華大学マンガ学部)、細谷和海 (近畿大学名誉教授)

編集 京都精華大学 (京都国際マンガミュージアム) 事業推進室

協力 フィールドソサイエティー

※本作品は京都府と京都精華大学との包括協定をもとに制作しました。

※本作品のコピー・スキャン・デジタル化などの無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。

©2019 京都府

